

## 第10回 呉西圏域ビジョン懇談会 会議録

日 時：令和5年3月29日(水) 18時00分～19時10分

場 所：氷見市芸術文化館マルチスペース

### ○開会挨拶〔要旨〕

(とやま呉西圏域連携推進協議会 会長)

- ・イベントや観光地などの入込数ではコロナ禍明けの動き始めを感じているところ。呉西圏域が連携してこれからの時代にどのように国内外へ発信いくか、我々の担うべき役割は大きいと思っており、関係団体の多くの方々の忌憚のないご意見をいただき、大きな転換期を迎えた呉西圏域のますますの発展について熱く意見を交わしたい。5月には新型コロナの5類への移行が予定されており、率先してアフターコロナを実践していただきたい。

### ○連携事業概要・令和4年度の主な取組み

(事務局による資料説明)

〈質疑なし〉

### ○令和3年度の実績報告

(事務局による資料説明)

〈質疑なし〉

### ○意見交換

(委員)

- ・観光については、2024年、25年と西に向かっての動きが大きくなる。キャンペーンの中で「呉西」というと、特に海外の人には分かりにくいいため、例えばワーケーション事業で使用している「富山 WEST」のようにシンプルでキャッチーなロゴを作成・使用することが望ましいと考える。

(委員)

- ・東海や関東など交通網が繋がってきた過程で行政と連携してきた。これからは関西方面への発信に力を入れなければならない。観光の需要が戻りつつあり、観光バスが増えているが、バス添乗員の不足が問題になっている。観光地でも今後、入込数が倍増することへの対応が必要。

(委員)

- ・北陸新幹線敦賀延伸、2024年秋のディステーションキャンペーン、2025年の大阪万博と全国規模の大イベントが続くので6市連携でのPRは重要でありブランディングを進めていく必要がある。

- ・ワーケーション実施者からアンケートをとりフィードバックすることで、呉西圏域の魅力の向上を図ってみてはどうか。
- ・ポイントサービス事業については、例えば地域のプロスポーツチーム、スポーツイベントとの連携ができればと思う。例えば試合観戦でポイントを付与し、地元商店街等で使えるようにするなど循環する流れができればよい。
- ・企業誘致では、ハードルは高いかもしれないが、圏域でのカーボンニュートラルの計画やビジョンを打ち出すことができればインパクトを残すことができる。

(委員)

- ・呉西圏域の発展には商業、企業がこれからの大きなポイントになると考えている。共創ビジネス研究所の研究生には射水の創業塾にも参加している方もいる。それぞれで実施するのではなく、連携し、より充実したカリキュラムにできれば実質的な創業につながるのではないか。
- ・中高一貫校を高岡に作れないか。近年、定員割れしている高校もあり、富山市に大学附属中学校があるように生徒数確保の観点からも必要と考えている。教育で呉西エリアを盛り上げていければよい。

(委員)

- ・地域において大学はできるかという点、ユマニチュードを学んだ看護師の育成や、DXに注力している。卒業した人材が地域貢献で活躍できればよい。
- ・探究の授業など、高校の人材育成にも携わる機会があるが、卒業後、そのまま地元に残ることがいいのか、一度県外へ出て戻って来てもらうことがいいのか、話し合う場を持てればと思う。

(座長)

- ・仮に18歳時点で転出したとしても、「子育てするなら呉西」というパターンが浸透するとよい。

(委員)

- ・報告になるが、広域防災、特に庄川・小矢部川等の水害への対応について、ダムの前放流、利賀ダムの建設促進、用水への転落防止柵の設置などを知事へ要望した。

(委員)

- ・県内教育機関の給食費が高いというニュースを拝見した。「ゴーセイな日」給食でも、呉西北部では山の幸、南部でも魚介などの海の幸を出すなど子どもたちに分かりやすい献立にして関心をもってもらえるようにすればどうか。

(委員)

- ・災害備蓄について、水の保存をPETボトルからアルミ缶ボトルに代えることで保存期間が2年程度から10年に延ばすことができる。リサイクルすることで97%の省エネにもなる。カーボンニュートラルの観点でも呉西で連携して、アルミ缶ボトルへの切り替えをご検討いただきたい。

(委員)

- ・学芸員による交流講座について、各市にある博物館、美術館、それに類似した施設と連携して館長も企画に参加するようなユニークな新しい取り組みをお願いしたい。絵画展もいいが、高岡市で開催したバンクシー展や山本二三展など子ども連れの若い世代も対象にした企画ができればよい。
- ・「呉西圏域」だと県外には通じないので、「富山 WEST」の名称をポスター等で使用されることを望ましい。

(委員)

- ・防災士育成について、研修会などイベントをされているが、消防団員は全国的、特に中山間地域には新しい方が入団しないため、まだまだ少ない。各地域における企業の皆さんにも消防団への加入いただきたいと考えている。

(委員)

- ・観光については、富裕層をターゲットにした動きが強くなってきていると感じている。県が観光庁のモデルプランに立山黒部を取り上げているように、呉西でもコンテンツを作ることが大事。

(座長)

- ・地域でどのようなブランディングをしていくのかしっかりと戦略を考え、地域一体となってそれを支えていくことが大事。

(委員)

- ・(先に話があったが) 観光庁の考え方としては、インバウンドを見据え、超富裕層を対象にした「暮らすような旅」、体験型観光を推進していくこととしている。呉西圏域には散居村や漁港、世界遺産になっている集落での体験が富裕層に刺さると伺っており、呉西圏域と連携して進めてまいりたい。

○閉会

(終了 19:10)